

甲南医療センター 病院概要



甲南医療センター

〒658-0064 兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-16
TEL:078-851-2161(病院代表)
<https://kohnan.or.jp/kohnan/>



□病床数:461床

■診療科目

- 糖尿病・内分泌・総合内科 ■循環器内科 ■消化器内科
- 腎臓内科 ■呼吸器内科 ■脳神経内科 ■リウマチ膠原病内科
- 腫瘍・血液内科 ■緩和ケア内科 ■放射線科 ■小児科
- 皮膚科 ■精神科 ■消化器外科 ■乳腺外科
- 心臓血管外科(休診中) ■呼吸器外科 ■整形外科
- リハビリテーション科 ■脳神経外科 ■眼科 ■耳鼻いんこう科
- 泌尿器科 ■産婦人科 ■形成外科 ■麻酔科 ■歯科口腔外科
- 病理診断科 ■救急科

【病院見学希望フォーム】

https://kohnan.or.jp/recruit/entryfrom/residents_request



【初期臨床研修医募集要項】 <https://kohnan.or.jp/recruit/initial-resident/recruitment>



- 雇用形態 常勤(2026年4月1日 採用予定)
- 勤務地 甲南医療センター
- 募集人数 9名
- 給与 基本給(年俸制)
4,200,000円/年(1年次)
4,700,000円/年(2年次)
※30時間/月程度の時間外勤務あり
(上記金額は30時間の時間外勤務手当を含んだ見込み額)
交通費:支給(月額50,000円を上限とし支給)
※夜勤・休日勤務:4~5回/月
※宿舎:なし(当院規定の不動産会社紹介あり)
- 勤務時間 8:30~17:15(60分休憩)
- 休日・休暇 ●有給休暇:10日(1年次)、14日(2年次)
●その他:結婚休暇・忌引休暇・配偶者出産休暇・
その他法律に定められた休暇等
●休日:土曜日・日曜日・国民の祝日・国民の休日
年末年始(12月29日~1月3日)
※シフト制
- 厚生 社会保険:全国健康保険協会管掌健康保険適用
年金保険:厚生年金保険
労災保険:適用
雇用保険:適用

- 健康 健康診断2回/年
インフルエンザ予防接種等
 - 医師賠償責任保険 団体保険加入済 ※個人加入推奨
 - 学会参加 当院の規定により参加可
 - 試験日 2025年8月2日(土)、2025年8月23日(土)
 - 選考方法 面接
 - 応募書類 ①履歴書(当院規定のもの)
②小論文(Wordで横書き)
※論題はホームページにて後日発表
③卒業(見込み)証明書
④CBT個人成績表・成績証明書
⑤健康診断書(大学実施の健康診断でも可)
 - 応募期間 **2025年6月23日(月)~2025年7月22日(火)(必着)**
 - 応募方法 封筒の表に「初期臨床研修医採用試験応募書類」と
朱書きし、以下の送付先に郵送してください。
【送付先】〒658-0064
兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1丁目5-16
甲南医療センター 教育研修センター 宛
 - 留意事項 応募にあたってはマッチングに参加登録してください。
- ◎最新情報はホームページをご覧ください。

【応募・お問い合わせ先】

公益財団法人甲南会 甲南医療センター 教育研修センター Mail:kmc.rinshokensyu@kohnan.or.jp
TEL:078-851-2161(代表) ※平日9:00~17:00にご連絡ください。

臨床研修医
募集案内
2026



KOHAN MEDICAL CENTER



公益財団法人 甲南会

甲南医療センター





初期
臨床研修医2年目
神戸大学卒
細江 里緒

▶ やりがいや喜びを感じる時はどんな時ですか？

救急外来で初期対応にあたった患者さんや入院中に受け持った患者さんが、治療を受けて症状が改善し、退院する姿を見た時です。入院患者さんを受け持つと、毎日朝回診に行き、その日の検査結果を確認しながら指導医の先生方と治療方針を話し合います。毎日患者さんと顔を合わせることで、症状が良くなっていくのが分かり、退院出来ることが決まると嬉しいです。また出来るが増えれば、それだけ患者さんの治療に繋がると思うとやりがいを感じます。1年前と比較すると、担当する患者数や出来る手技も増えましたが、まだまだ分からないことも多く、勉強することが多いと感じますが、初心を忘れず、残りの研修期間も頑張りたいと思います。

▶ 実際この病院で研修を受け、良かった点について

様々な症例・症候を経験する事が出来る点と、病院の先生方が教育熱心で相談しやすい環境であるという点です。救急外来ではファーストタッチを研修医が行い、救急科の先生に相談しながら鑑別を考え、必要な検査をオーダーします。一般的な症候に対する初期対応を学べる他、内科ローテ中であれば救急で診た患者をそのまま担当医の一人として入院後経過を学ぶことが出来ます。また研修中に分からないことや疑問が出てきた場合でも、主治医の先生に相談しやすく、非常に研修がしやすい環境であることを日々実感しています。どの先生方も教育熱心で興味深い症例や出来る手技があれば声をかけてくださり勉強しやすい環境であることが当院の魅力だと思います。



初期
臨床研修医1年目
大阪医科大学卒
金 大貴

▶ 臨床研修病院をどのような基準で選びましたか？ この病院を選んだ決め手は何ですか？

私が甲南医療センターを選んだ理由は2つあります。1つ目は当院では29の診療科が揃っていることです。様々な診療科で研修することで、多くの臨床経験を積むことができると思ったからです。2つ目は断らない救急を理念としており、多くの救急症例をみることが出来るからです。見学に行った際、研修医の先生がファーストタッチを行い、指導医の先生方が熱心に研修医を指導している姿を見て是非ともここで働きたいと思いました。このように多くの学びを得られる恵まれた環境の中で医師としての基礎を築きたいと考え、当院を志望しました。

▶ 研修終了後にはどんな医者になりたいですか？

私は研修を通じて救急外来での的確な対応と患者さんの気持ちに寄り添える医師になりたいと考えています。当院では救急外来での搬送件数も多く研修医がファーストタッチを行うので、多くの救急症例を経験することができます。こうした実践的な環境の中で試行錯誤を重ねながら、必要な検査や鑑別疾患を考え、迅速に患者さんに対応できる力を養っていきたくです。また上級医の先生方が診察の際に患者さんと接している姿を見ながら、私も患者さん1人ひとりと真摯に向き合い、医師としての心構えを学んでいきたいと考えています。

■ 研修プログラム

相談の上、オーダーメイドの研修プログラムの作成が可能です！

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科(臓器別) (必修科目)								外科 (必修科目)	救急科 (必修科目)		
2年目	産婦人科 (必修科目)	小児科 (必修科目)	地域医療 (必修科目)	精神科 (必修科目)	選択研修							

- ◎必修科目:内科7ヶ月(循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌・総合内科、呼吸器内科、腫瘍・血液内科、脳神経内科、腎臓内科)、外科2ヶ月(消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科)、救急科3ヶ月、産婦人科1ヶ月、小児科1ヶ月、地域医療1ヶ月、精神科1ヶ月
- ◎選択研修:8ヶ月(循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌・総合内科、呼吸器内科、腫瘍・血液内科、脳神経内科、腎臓内科、緩和ケア内科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻いんこう科、眼科、放射線科、麻酔科、産婦人科、小児科、救急科)
- ◆一般外来研修は内科、小児科、選択研修、地域医療(丹波市ミルネ診療所・松前町立松前病院)にて実施
- ◆地域医療:丹波市健康センター ミルネ診療所(兵庫県丹波市)、清水メディカルクリニック(兵庫県明石市)、松前町立松前病院(北海道松前町)
- ◆精神科:医療法人達磨会 東加古川病院(兵庫県加古川市)

■ モデルパターン①

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	救急科①② (必修科目)		内科①② [循環器内科] (必修科目)		外科①② (必修科目)		選択 研修①	内科③④ [呼吸器内科] (必修科目)		選択 研修②	内科⑤ [腎臓内科] (必修科目)	内科⑥ [脳神経内科] (必修科目)
2年目	内科⑦ [腫瘍・血液内科] (必修科目)	救急科③ (必修科目)	精神科 (必修科目)	選択研修③～⑤			小児科 (必修科目)	産婦人科 (必修科目)	選択 研修⑥	地域医療 (必修科目)	選択研修⑦⑧	

■ モデルパターン②

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科①② [糖尿病・内分泌・総合内科] (必修科目)		外科①② (必修科目)		内科③④ [消化器内科] (必修科目)		救急科① (必修科目)	選択 研修①	救急科② (必修科目)	選択 研修②	内科⑤⑥ [循環器内科] (必修科目)	
2年目	救急科③ (必修科目)	小児科 (必修科目)	地域医療 (必修科目)	精神科 (必修科目)	産婦人科 (必修科目)	内科⑦ [腫瘍・血液内科] (必修科目)	選択研修③～⑧					

▶ やりがいや喜びを感じる時はどんな時ですか？

救急外来でファーストタッチを担当した患者さんに適切な初期対応を行い、入院後に軽快され、感謝の言葉をいただけたとき、医師としてのやりがいを深く実感します。命に関わる場面で行動する責任の重さを感じつつ、その分だけ患者さんに貢献できたという喜びも大きいと日々感じております。また、入院中に不安を抱えている患者さんには傾聴を重ね、上級医と共有し、患者さんの背景を踏まえた治療を検討することで個別性のある医療の実現を目指しています。その過程で、患者さんの不安に寄り添い合い、安心して退院される姿をみると医師としての達成感を強く実感します。患者さんファーストの医療を実現していくため初心を忘れずにこれからも驕ることなく自己研鑽に励んでいきたいと考えております。

▶ 実際この病院で研修を受け、良かった点について

甲南コース8人、神戸大学とのたすきがけコース6人と研修医の人数が多く、仲間に恵まれていること、また救急外来でcommon diseaseからまれな疾患まで症例が豊富に経験できることが大きな魅力です。研修医同期が多いことお互いが経験した症例や研修中に直面した課題を気軽に共有でき、互いに知識を深め合うことができます。救急外来では、研修医がファーストタッチを担当し、必要な検査を自ら考え、わからない点はすぐに上級医に相談できる体制が整っています。この環境では、指示をただ実行するのではなく主体的に考える力が養われ、成長を実感できます。さらに、そこで経験した症例を同期と議論することで切磋琢磨し、モチベーションを高く保つことができます。



初期
臨床研修医2年目
奈良県立医科大学卒
中田 未来

▶ 臨床研修病院をどのような基準で選びましたか？ この病院を選んだ決め手は何ですか？

甲南医療センターでは“不断の救急”という理念のもと数多くの患者さんを受け入れており、幅広く高度な救急医療を学べることに魅力を感じました。また、外科内科ともに幅広い診療科が揃っており医師としての基礎を築くことができると思いました。それに加えて、実際に見学に向った際に研修医の先生方が数多くの患者さんのファーストタッチを行い、主体的に考え行動し、現場の最前線で活躍している姿に自分もこのような研修医になりたいと強く感じました。また、それに対し上級医の先生方が丁寧に熱意をもって指導している姿を見て、自分もこのような環境で医師として成長したいと感じ、志望しました。

▶ 研修終了後にはどんな医者になりたいですか？

私は患者さんに「出会えてよかった」と思われる医師になりたいです。疾患に対する知識さえあれば疾患を治療することは可能かもしれませんが、医師のちょっとした一言や些細な態度が患者さんの人生に与える影響は大きいと思います。患者さんは同じ疾患を抱えていたとしてもそれぞれが様々な状況にいて、何を大切に考え、どのような医療を求めているかも個々によって異なります。患者さんを疾患として捉えるのではなく、個々の人間として向き合うことで患者さんの健康を実現できると考えます。そのような中で患者さんに「出会えたことで人生が幸せになった」と思われる医師になりたいです。



初期
臨床研修医1年目
神戸大学卒
平山 新乃介

甲南医療 センターは どんなところ?

研修医の声



2年間をどう過ごすか、最初が肝心。
そう思うと、つい肩の力が入ってしまいますが、
指導医はもちろん先輩研修医や教育研修センター
スタッフもやさしく接してくれるので、少しずつ緊張も
ほぐれ、病院の雰囲気にも慣れてきます。



初期研修医1年目

仲間と共に臨床キャリアの第一歩を踏み出します!

学べる環境が
揃っています!



初期研修医2年目



東灘消防署にて、救急隊員の
一員としての1日実習



4~6月は毎朝医師・コメディカルによる
臨床講義があり、連携力アップ!



職員のワクチン接種も
担当



症例発表は、
本人のヤル気で機会は豊富に



地域医療研修



北海道の地域医療研修では
いろいろな経験ができます。



各種シュミレーターを使用



した手技指導の充実



ICLS研修の様子



ER基本手技研修の様子



優しい先輩のサポートのもと
いろいろな手技を学びます。



最新の医療機器が充実しており、
実際に使う事で技術の向上が計れます。



日々、仲間と共に切磋琢磨しながらも楽しく研修



看護部との
オリエンテーションの様子(OPE室)



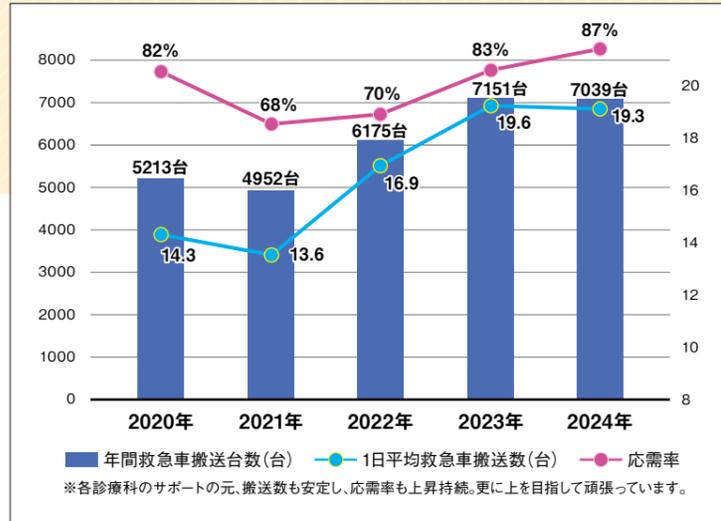
毎年3月にある臨床研修修了証授与式では
院長より修了証が授与されます。

充実した研修環境

「次世代の医療を担う優秀な若手医師」育成のための
研修環境づくりに力を入れています。

◎ 24時間365日 「助けを求める患者さん」を 積極的に受け入れる救急

神戸市東灘区の中核病院として「地域を支える急性期医療の砦」となるべく日々精進しております。神戸市東エリアからの搬送を中心に神戸市1、2の搬送数となっており、重症度も年々増えています。たくさんの症例を経験しながら臨床力を身に付けることができます。内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科など幅広く、軽症～重症までVarietyに富んでいます。たくさん実戦を積むことがLevel upの最も近道です！救急だけでなく、各Specialistの「愛」のあるサポートの元、安心してActiveなERで研修してください。



宮崎 勇輔 救急科 副部長
竹田 洋樹 救急科 部長
高橋 徹也 救急科 統括部長
橋本 英之 救急科 救命士

◎ 臨床講義・救急レクチャー

On the jobトレーニングを最重視し、外科、小児科、救命、整形外科、集中治療と様々な専門をもつ救急専従医が集結し、一緒に学ぶDiversity ERです。さらに研修医のニーズに合わせた臨床講義、救急レクチャーも積極的に行っています。臨床講義では、各診療科の専門医師より日常臨床に関することを学びます、皆さんが「何を学びたいか」に合わせて、研修医のニーズをくみ取った講義を行っています。また、金曜日開催のKER-FES(Konan ER-Friday Evening Seminar)では救急・集中治療専門医より、「甲南ERで研修して救急が楽しくなった！」と思ってもらえるようにハンズオン中心のレクチャーを開催しています。今後も研修医の皆さんの意見を取り入れつつどんどんパワーアップ予定です！ぜひ一緒に甲南ER&ICUで「愛」のあるCritical careのGeneral mindを修得しましょう！！

■臨床講義テーマ (※変更の可能性あり)

1 救急部	当直時の対応について
2 感染防止対策室	病院での感染対策
3 医療安全	医師のインシデント報告について
4 腎臓内科	急性腎不全の治療と診断
5 消化器外科	急性腹症～外科医の視点から考える手術適応とその実際～
6 眼科	眼科救急疾患
7 栄養管理部	栄養管理について
8 耳鼻いんこう科	救急における咽喉頭感染治療の落とし穴
9 薬剤部	薬物相互作用
10 糖尿病・内分泌・総合内科	糖尿病管理について
11 リハビリテーション部	嚥下について
12 乳腺外科	乳がんの治療
13 歯科口腔外科	周術期口腔機能管理について
14 病理診断科	病理診断(生検、手術、解剖)に関して
15 消化器内科	腹痛診療について
16 中央放射線部	放射線部で行う各種検査の進め方
17 循環器内科	虚血性心疾患
18 呼吸器内科	慢性咳嗽の診療について
19 小児科	小児科の救急
20 腫瘍・血液内科	輸血療法について
21 精神科	せん妄
22 脳神経内科	てんかんについて
23 放射線科	CT・造影剤の基本、common diseaseの画像所見
24 呼吸器外科	救急診療における呼吸器・胸部外科疾患
25 中央検査部	検体検査の注意点
26 循環器内科	心エコー図検査の概要
27 認知症疾患センター	日常診療で出会う患者のこころのサポート
28 腫瘍・血液内科	Oncologic emergency
29 産婦人科	救急搬送された産婦人科疾患の対応
30 患者サポートセンター	患者サポートセンターについて・業務の内容と活用方法
31 脳神経内科	脳卒中対応～これがポイント～
32 消化器内科	内視鏡診療における抗血栓薬の注意点
33 糖尿病・内分泌・総合内科	感染症の基礎知識
34 整形外科	救急外来での腰部痛の鑑別診断

■救急レクチャー (KER-FES) 一覧

1話	初期対応 for 内因性 (ERで困らないために！)
2話	初期対応 for 外傷 (ERで動けるようになる！)
3話	とりあえず！FASTで
4話	ER顕微鏡設置記念！ 感染症の原則&Gram染色
5話	バイタル診断！やバイタル①
6話	バイタル診断！やバイタル②
7話	Level up! 腹部診察
8話	Expertに学ぶ 腹部エコー by 救急部長
9話	呼吸の見方 ～respiratory tasting～
10話	すぐ身につく！すぐ役立つ！肺エコー
11～13話	Expertに学ぶ 特別編 熱血！心電図監 beyond ER

他 ●症候別の診察&動き方@ER
●感染症@ER各論
●縫合処置、Airway確保など手技関連
●エコー達@ER ●小児救急 等々
更に今年には呼吸器などICU器機も！
コンテンツは入荷予定です。

ラーニングピラミッド(アメリカ国立訓練研究所)はご存じでしょうか？学習定着率は講義形式では5%しか残らず、実演説明で30%、練習75%、他者に教える90%と増えています。KER-FESではハンズオン・シミュレーションを中心にER診療に役立つ内容をお届けします！



救急レクチャーの様子



人の手で接する最善の医療を追求し
総合力のある医療人を育てる

院長 具 英成

甲南医療センターは、神戸市東灘区にある地域拠点病院です。前身の甲南病院は1934年に創設され、およそ100年の歴史と伝統を有します。2015年に始まった大規模な建て替え工事を経て2022年3月に、461床、29の診療科を擁する総合病院として生まれ変わりました。当院は創立時から、営利本位に陥らず全ての患者が名医の治療や手術が受けられる患者本位の医療を追求するという当時としては先駆的な理念のもと、全職員が一丸となって歴史を紡いできました。新病院誕生の節目には神戸大学との連携を強化し「人の手で接する最善の医療を追求し実現する」という新しい理念を掲げ、公益財団法人甲南会 甲南医療センターとして再スタートしました。これからも最善の医療を実現するためには建物や医療機器だけでなく、「心技一体で心の深くに届く高質の医療を実践できる総合力のある医療人の育成」が最も重要な目標と考えています。また当院は2018年11月、東灘区に所在する甲南大学、甲南女子大学など近隣の大学、医師会、歯科医師会や区役所行政と協働し優れた医療人材を育て地域の健康に寄与する東灘次世代医療コンソーシアムというプラットフォームを立ち上げました。これまで以上に地域の大学、医師会、行政と力を合わせ地域医療を担う要でありたいと念願しています。大志を抱く研修医のみならず、心身たくましく当院で飛躍の一步を踏み出して下さい。

医療の最前線で実践を重ね実力を養う

教育研修センター センター長(研修管理委員長) 下山 学

当院は神戸市東部地域の救急医療を担う急性期総合病院です。総合病院の強みを生かし、多領域にまたがる、複数の疾患を併発している、多数の基礎疾患を有するなどの症例を受け入れることができます。そのため毎日多くの患者さんが受診しています。救急では高い応需率で多数の救急搬送症例に対応しています。このような医療現場で上級医と医療を実践する初期研修の2年間は皆さんにとってかけがえのない時間となります。これからの長い医師人生を共に歩む大切な同期を得る機会でもあります。毎年、様々な大学出身の研修医が入学しています。お互いに刺激を受けながら成長していくことができます。教育研修センターは皆さんが安心して研修医生活を過ごすことができるように臨床研修以外の事務的な面も含めてサポートしていきます。当院は働き方改革を積極的に行っており初期研修医も例外ではありません。メリハリのある研修ができるように研修先各科と連携して勤怠管理を行っています。初期研修医が順調に力をつけていくことは病院の成長でもあり、地域の方々への医療貢献にも繋がると考えています。我々のチームの一員となって一緒に成長していきましょう。



適度な緊張と安寧を兼ね備えた研修体制で 医師としての実践力を学ぶ

教育研修センター 副センター長(プログラム責任者) 矢野 嘉彦

当院は、神戸市東部の救急医療の中核を担う総合病院として、地域の多様なニーズに応えながら幅広い症例に対応しています。3名の救急専門医を擁し、ER型の救急システムを導入。初期研修では、上級医のサポートのもと、実際の救急現場で多くの経験を積むことができます。また多数の専門診療科を有しており、さまざまな専門領域の疾患にも触れることが可能です。総合病院としての特徴は、診療科の垣根が低く、日常的に専門医と相談しやすい風通しの良い雰囲気があることです。2025年度は、初期研修医23名(1年次14名<神戸大学たすきがけコース6名を含む>、2年次9名)が在籍し、助け合いながら研鑽を積んでいます。教育研修センターでは、臨床研修以外の研修医生活全般をサポート。研修医室には個々のスペースが確保され、学習環境も整っています。個々の興味や将来のビジョンに合わせて選べる自由度の高い研修プログラムも魅力のひとつです。16か月の必修研修で総合力・実践力を身につけ、8か月の選択研修期間で将来に生かせる診療科を選択することができます。自分のペースで、自分らしく成長できるよう、初期研修期間をサポートしていきます。

